

今週のお祈り 聖霊降臨後第17主日(特定20)特務

憐れみ深い全能の神よ、どうか主の豊かな恵みによって、すべての害あるものから守ってください。体と魂とに備えをし、あなたのみ心の思いを喜んで成し遂げることができますように、父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



号外 166
発行日
2023年
9月24日

今日の聖書のメッセージは、橋本司祭様が旧約聖書から選んでくださいました。ヨナ書は物語のようですね。トウゴマはヒマともいわれ、今も栽培されている植物。背丈が高くヒマシ油が取れるそうです！

今週の聖書 ヨナ書 3:10 ~ 4:11

10 神は、人々が悪の道を離れたことを御覧になり、彼らに下すと告げていた災いを思い直され、そうされなかった。1 このためヨナは非常に不愉快になり、怒って、2 主に訴えた。「ああ、主よ、これは私がまだ国にいたときに言っていたことではありませんか。ですから、私は先にタルシシュに向けて逃亡したのです。あなたが恵みに満ち、憐れみ深い神であり、怒りに遅く、慈悲に富み、災いを下そうとしても思い直される方であることを私は知っていたのです。3 主よ、どうか今、私の命を取り去ってください。生きているより死んだほうがましです。」4 しかし、主は言われた。「あなたは怒っているが、それは正しいことか。」5 すると、ヨナは都を出てその東にとどまり、そこに小屋を作り、日射しを避けてその中に座り、都に何が起るかを見届けようとした。6 神である主がとうごまを備えた。それはヨナを覆うまでに伸び、頭の上に陰を作ったので、ヨナの不満は消えた。ヨナは喜び、とうごまがすっかり気に入った。7 ところが翌日の明け方、神は一匹の虫に命じてとうごまをかませたので、とうごまは枯れてしまった。8 日が昇ると、神は東風に命じて熱風を吹



きつけさせた。また、太陽がヨナの頭上に照りつけたので、彼はすっかり弱ってしまい、死を願って言った。「生きているより死んだほうがましです。」9 神はヨナに言われた。「あなたはとうごまのことで怒るが、それは正しいことか。」ヨナは言った。「もちろんです。怒りのあまり死にそうです。」10 主は言われた。「あなたは自分で労することも育てることもせず、ただ一夜にして滅びたこのとうごまをさえ惜しんでいる。11 それならば、どうして私が、この大いなる都ニネベを惜しまずにいられるだろうか。そこには、右も左もわきまえない十二万以上の人間と、おびただしい数の家畜がいるのだから。」

聖書からのメッセージ

司祭 橋本 克也

今日、礼拝の中で読まれる旧約聖書の「ヨナ書」は、ヨナさんが、神さまに反抗して、大きな魚の腹の中に飲み込まれたり、また抗議をしたりと、短いけれどとても楽しいお話ですからぜひ読んでみてください。

そのヨナ書では『主は言われた。「あなたは自分で労することも育てることもせず、ただ一夜にして生じ、一夜にして滅びたこのとうごまをさえ惜しんでいる。それならば、どうして私が、この大いなる都ニネベを惜しまずにいられるだろうか。』と書いてあり、神の愛と公正が示されます。また今日の福音書の「ブドウ園の労働者のたとえ」にも、「わたしはこの最後のものにも、あなたと同じにしたいのだ」とあり、見失われている小さな存在への豊かな神の愛に感動を覚えずにはられません。